

京都府災害時学校支援チーム(D-EST京都)について (京都府)

1. チームの概要及びこれまでの取組

設置までの経過	令和6年能登半島地震の発生を受け、七尾市内の小中学校4校へ学校再開支援教職員を派遣したことをきっかけに、先進県への視察及び研修参加等を通じ、1年間かけて設置準備を進める。
設置年月日	令和7年4月1日
活動内容	【災害発生時】 被災地の学校における教育活動の早期再開及び児童生徒・教職員の心のケアの支援 【平時】 所属における防災対策や防災教育の推進及び地域や関係機関との連携
チーム員数 (R8.2時点)	111名 (内訳) 府内公立学校教職員(※京都市除く)・・・70名 京都府教育委員会事務局職員・・・・・・・・41名

2. 今年度の新たな取組

D-EST京都の認知拡大等

- ▶ 取組内容
あらゆる機会を通じた周知活動の実施
養成研修のオンデマンド動画配信
京都市教育委員会との連携方法の模索
- ▶ 成果
チーム員を活用した取組の促進
府・市お互いの専門性・強みを活かし、協力することで合意
- ▶ 課題
情報発信の強化(情報発信手段の検討・定期的な情報発信のための話題収集)
所属全体でチーム員の活動を支援する体制の整備
府・市間の具体的な連携方法の検討

チーム員の養成・活動支援

- ▶ 取組内容
チーム員養成研修の実施(対面)
第1回全国学校支援チーム研修会の参加
チーム員活動状況アンケートの実施
- ▶ 成果
新たに88名のチーム員を校種・地域バランス良く養成
活動状況アンケートから得られた平時の活動事例についてチーム員に共有
- ▶ 課題
アンケート結果を踏まえた、研修内容のさらなる改善
平時の活動が進まない要因分析と、支援のあり方の見直し

災害発生時の支援体制整備

- ▶ 取組内容
チーム員と直接連絡の取れる体制の構築
支援隊の派遣・受入スキームの検討
派遣時に必要な準備物の精査
- ▶ 成果
Microsoft Teamsを活用したコミュニティの運用開始
携帯用ハンドブックの素案完成
派遣時に必要な物品の調達
- ▶ 課題
コミュニティ内におけるリアクション率改善
携帯用ハンドブックの完成・配布
支援隊派遣・受入方法のマニュアル化

3. 今後の展開

- 令和8年度～
- 【新規】資質向上研修の実施、平時の活動支援の見直し、情報発信の強化
 - 【継続】チーム員の養成、携帯用ハンドブックの完成・配布、支援隊派遣・受入方法のマニュアル完成、京都市教育委員会との連携方法の具体化

